

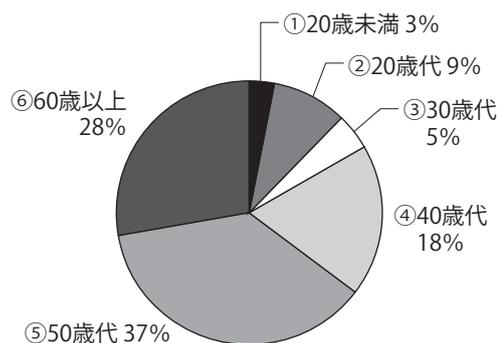
大阪会場

# アンケート集計結果



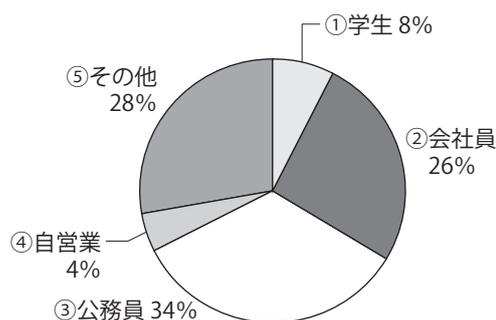
### 1 年齢構成

① 20歳未満	2 人
② 20歳代	6 人
③ 30歳代	3 人
④ 40歳代	12 人
⑤ 50歳代	24 人
⑥ 60歳以上	18 人



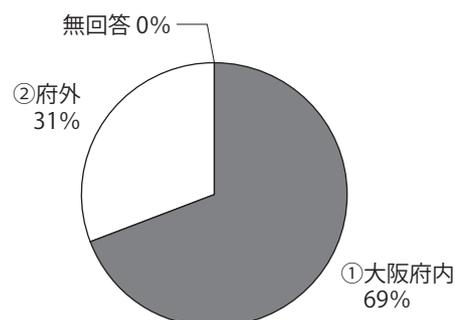
### 2 職業構成

① 学生（小・中・高・大・他）	5 人
② 会社員	17 人
③ 公務員	22 人
④ 自営業	3 人
⑤ その他	18 人



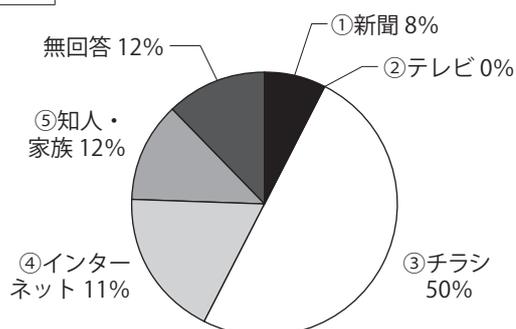
### 3 住まい

① 大阪府内	45 人
② 府外	20 人



### 4 本シンポジウムを知ったきっかけ（複数回答）

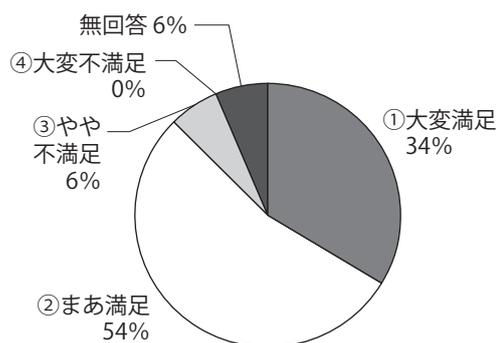
① 新聞	5 人
② テレビ	0 人
③ チラシ	33 人
④ インターネット	12 人
⑤ 知人・家族	8 人
無回答	8 人



### 5 本シンポジウムについて

#### (1) 全体満足度

① 大変満足	22 人
② まあ満足	35 人
③ やや不満足	4 人
④ 大変不満足	0 人
無回答	4 人



## (2) 自由記入欄より

三人のパネリストのお話を聞き、同じ人間であることの重大性、共に生きるための教育や文化面にも協力したい。現在の私のまわりにはないお話を聞く事ができた。

国際交流ハーティ港南台の加藤さんからの話から、非常に大切な共生の為にコミュニケーションに関するヒントをいただきました。例えば、駅の案内で日本語、英語、ハンガル、中国語が表示されているケースでも「ひらがな」表示が有り難いというのは、見落としていた部分でした。大変勉強になりました。

ロバート キャンベルさんの講演。ヘイト・スピーチについて「その先に何かがあるのか？」が印象的でした。加藤さんのような地域で身近に支援している団体の存在や活動内容が印象に残りました。メディア等によって外国人の少ない地域にも周知が広まってほしいと思いました。

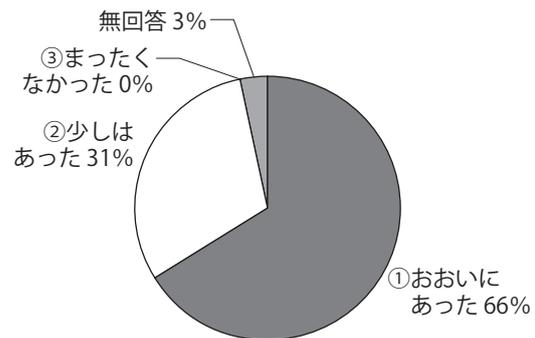
宮島先生の国際的な観点からの分析が、非常に興味深かったです。

松本さん。外国人（マイノリティ）の側からの視点が、私にいちばん欠けていた引き出しだったので、とても勉強になりました。同じ答えでも、「たぶんこうであろう」よりは「実際に、当事者としてこうだった」の方がいいに決まっていますから。

※主な回答を抜粋

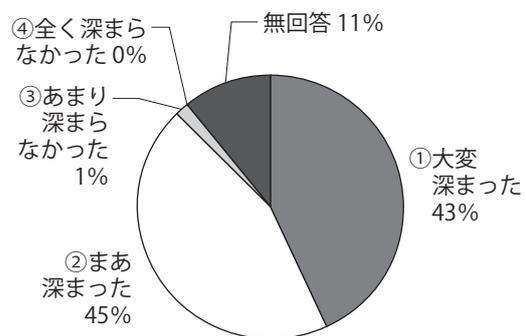
## 6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか

① おおいにあった	43 人
② すこしはあった	20 人
③ まったくなかった	0 人
無回答	2 人



## 7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか

① 大変深まった	28 人
② まあ深まった	29 人
③ あまり深まらなかった	1 人
④ 全く深まらなかった	0 人
無回答	7 人

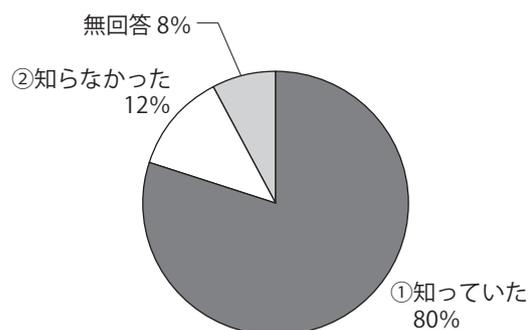


### 8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 日本に住む外国人に対して、何らかの支援を行いたい	14 人
② 日本に住む外国人と交流してみたい	13 人
③ 人権侵害の被害者・加害者にならないよう気を付けたい	20 人
④ 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	35 人
⑤ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会をもちたい	32 人
⑥ 今回のイベントの内容を、友達や家族に説明し、話したい	16 人
⑦ ほかに人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	26 人
⑧ その他	2 人
無回答	6 人

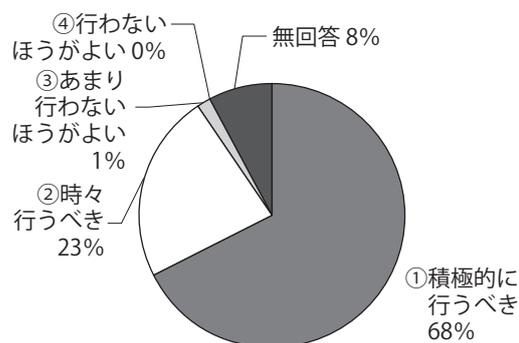
### 9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	52 人
② 知らなかった	8 人
無回答	5 人



### 10 今後、このようなシンポジウムを行うべきだと思うか

① 積極的に行うべき	44 人
② 時々行うべき	15 人
③ あまり行わないほうがよい	1 人
④ 行わないほうがよい	0 人
無回答	5 人



**11 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催してほしいテーマなど（自由記入）**

今まで外国人の人権についてシンポジウムや勉強会に参加したことがあまりなく、知識もほとんどないままに参加したので、今回の内容は理解するのがなかなか大変な部分もありました。これから益々日本を訪れる、あるいはそのまま暮らす外国の方が増えると思います。自分も外国人の人権ということについて当事者なんだということに気付かされました。今後もっと来場者参加型の形式でこのようなイベントを開催していただけたらと思います。

キャンベルさんのように人権専門ではないが、ある文化・学問につきつめて研究されている方の人権についての考え方は非常に深く考えさせられるものがある。

「多文化共生」という言葉が、日本語発で外国語には無いということは発見だった。その割には、日本国内で曖昧な意味で、まかり通っていて、正確な意味が浸透していないのでは、と感じた。日本は古来、渡来人が多く、文明や文化を取り入れ、日本化してきたが、本来、多文化共生的社会だったのではないか。それが、いつしか「国家」主体になり、日本的独善主義がまかり通るようになったのか、と、いろいろ考えさせられた。

「外国人と人権」という今日のテーマは、シンポジウムの企画としては難しいものと考えていたが、大上段からの話ではなく、身近なものとして捉えることができた。

外国人だけにかかわらず、いろいろな自分と違った立場の人を差別する状況は、家庭内で、親や身内などからの影響も多分にあると思う。学校で教育される先生の考えも、小学生などの子どもは素直なので、まちがっていても受け入れてしまうと思う。このような機会（シンポジウム等）を小・中学生にもぜひ行って欲しい。

※主な回答を抜粋

## 広報内容

### 広報実績

No.	事項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1紙に半5段広告を掲載。 読売新聞（大阪市内版・北摂版・河内版・泉州版）：平成26年10月31日（金）・朝刊</li> <li>・ 1紙に半2段広告を掲載（パブリシティ）。 毎日新聞（大阪本社版）：平成26年10月29日（水）・夕刊</li> <li>・ 1紙に一面突出し広告を掲載。 読売新聞（大阪本社版）：平成26年11月7日（金）・夕刊</li> </ul>
2	バナー広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット、スマートフォン・バナー及びテキスト広告を実施。 平成26年10月10日（金）～11月14日（金）6,887,981imps</li> </ul>
3	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。 大阪法務局（1,000部） 全国の法務局・地方法務局（980部）※大阪法務局を除く。 大阪府（900部） 大阪市人権啓発・相談センター（900部） 大阪府内市町村（840部）※大阪市を除く。 後援団体（600部） シンポジウム実施会場（30部） その他、全国の地方公共団体などに配布。 ※チラシ印刷部数：10,000部</li> </ul>
4	駅貼りポスター広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪市営地下鉄の各駅にB2サイズポスターの掲示。 ※掲出場所、期間等は大阪市が調整を行った。</li> </ul>
5	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。全国イベントガイド、イベスタなど計10サイトに掲載</li> </ul>
6	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計3回配信。</li> </ul>
7	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>
8	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。</li> </ul>

新聞・バナー広告

**外国人と人権**  
～ 違いを認め、共に生きる ～

日時 2014年 **11月15日**  
13:30～17:05(開場12:30)

会場 **オーバルホール**  
大阪府大阪市北区  
梅田3-4-5  
毎日新聞ビルB1F

定員 **180名**(事前申込制/先着順)

TEL **03-5777-1802** FAX **03-5777-1803**  
event2014@jinken.or.jp http://www.jinken.or.jp

【半5段広告】(左上)  
読売新聞(大阪市内版、北摂版、河内版、泉州版)  
掲載日:平成26年10月31日(金)朝刊  
エリア:大阪府内の一部の地域  
部数:912,890部

【半2段広告】(左下)  
毎日新聞(大阪本社版)  
掲載日:平成26年10月29日(水)夕刊  
エリア:大阪府周辺  
部数:604,970部

【小枠広告】(右下)  
読売新聞(大阪本社版)  
掲載日:平成26年11月7日(金)夕刊  
エリア:大阪府全域、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県の一部地域  
部数:1,200,783部

「外国人と人権」  
「人権シンポジウム in 大阪」  
開催のお知らせ  
法務省は、「外国  
人と人権の違いを認  
め、共に生きる」  
をテーマに、大阪府  
内の人権シンポジウ  
ムを開催します。有  
識者らによる報告や  
質疑応答を中心に、  
日本において外国人  
が置かれている実情  
や多文化共生社会実  
現への方策等に関す  
る議論を通じ、真の  
多文化共生社会の  
実現について考えま  
す。また、日本文学  
研究者ロバート・キ  
ャンベルさんによる  
トークイベントも行  
います。  
この機会に「真の  
多文化共生社会」の  
実現について考えて  
ください。  
or.jpをダウンロード  
してください。

外国人と人権  
11月15日(土)開催  
オーバルホール  
大阪駅すぐ  
入場無料  
事前申込制  
QRコードから  
申し込み  
人権ライブラリー  
お問い合わせ ☎03-5777-1802

【バナー広告】

336x280: レクタングル(大)

外国人と人権  
多文化共生ってなんだろう?  
11月15日(土)  
オーバルホール  
(大阪駅すぐ)

300x250: レクタングル(中)

外国人と人権  
多文化共生ってなんだろう?  
11月15日(土)  
オーバルホール  
(大阪駅すぐ)

160x600: ワイドスカイスクレイパー

外国人と人権  
多文化共生ってなんだろう?  
11/15(土)  
オーバルホール  
(大阪駅すぐ)

468x60: バナー

外国人と人権 11月15日(土)  
多文化共生ってなんだろう?

728x90: ビッグバナー

外国人と人権 11月15日(土)  
多文化共生ってなんだろう?

## 実施内容の周知

### YouTube 人権チャンネル

人権シンポジウム in 大阪 第一部の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて動画を配信した。  
<https://www.youtube.com/jinkenchannel>





## 新聞広告の効果測定結果

読売新聞の採録掲載については、広告の効果を把握するため、首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬）、近畿圏（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）、中京圏（愛知・岐阜・三重）、北海道、北陸圏（富山・石川）、福岡県に居住し、読売新聞を定期購読する15～69歳の男女個人を対象にパソコンを利用したウェブ調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおりである。

■接触度は、48.6%

※「確かに読んだ（見た）」又は「読んだ（見た）ような気がする」と回答

■理解度は73.9%

※設問「紙面（記事・広告）が理解できた」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■関心度は40.7%

※設問「紙面（記事・広告）に興味を持った」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■好感度は46.8%

※設問「紙面（記事・広告）に好感を持った」に対し「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答

■「人権シンポジウム in 大阪」の記事内容についての理解度は54.9%

■「相談窓口やサイトなど」の認知度は「いずれもこの広告を見て初めて知った」が70.6%

■人権イメージキャラクター「人KENまもる君」「人KENあゆみちゃん」の認知度は20.2%

※「具体的なキャラクター名まで知っていた」又は「見たことはあったが、具体的なキャラクター名について初めて知った」と回答

■人権シンポジウムへの参加経験者は1.7%

■人権シンポジウムへの参加意向者は67.1%。うち、参加意向の条件は、「自宅近くの開催なら参加したい」が29.7%、「興味のあるテーマなら参加したい」が25.0%、「一人ではなく、友人、家族、会社の同僚等と一緒に参加したい」が12.4%

■「広告閲覧後の人権問題に対する関心・理解度」は69.0%

■設問「広告閲覧後、人権について何か行動をしようと思ったか」について、「人権に関する意識を深めたい」が54.8%、「人権に関するイベントに機会があれば参加したい」が38.8%

■「新聞広告の継続」について、「継続すべき」が77.9%

※「積極的に行うべき」又は「時々行うべき」と回答